

# 令和4年度一般会計・特別会計・企業会計決算 8会計の決算をすべて認定

一般会計と4つの特別会計および3つの企業会計の各決算について、予算が計画的かつ効果的に執行されたか慎重に審議を行いました。審議にあたっては執行部との間で、多岐にわたって詳細な質疑応答が交わされました。活発な審議の結果、その内容を適正なものとして認め、いずれの会計決算も認定しました。

会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額	結果	
一般会計		234億6370万3227円	228億6146万2961円	6億224万266円	○	
特別会計	国民健康保険特別会計	51億9366万3306円	51億3786万444円	5580万2862円	○	
	国民健康保険診療所特別会計	5億6829万1706円	5億1609万7591円	5219万4115円	◎	
	後期高齢者医療特別会計	11億4201万1523円	11億2601万2817円	1599万8706円	○	
	介護保険特別会計	40億5393万4163円	39億2455万2765円	1億2938万1398円	○	
企業会計	訪問看護ステーション事業特別会計	収益的収支	4877万9522円	4912万3538円	▲34万4016円	◎
		資本的収支	0円	0円	0円	
	水道事業会計	収益的収支	15億877万8212円	14億1255万4888円	9622万3324円	◎
		資本的収支	3億7481万9344円	6億2159万1449円	▲2億4677万2105円	
	下水道事業会計	収益的収支	17億2693万9116円	16億5530万2918円	7163万6198円	◎
		資本的収支	10億9294万9390円	17億6505万8245円	▲6億7210万8855円	
合計		391億7386万9509円	390億6961万7616円	1億425万1893円		

※◎全会一致で認定・可決

○賛成多数で認定

**決算  
常任委員会**

**付託案件 8件**

議案第64号

主な質疑

**問** 決算総括について

**答** 不用額等精査した中で最終的に剰余金が出て、特定目的基金の庁舎整備基金・公共公益施設等整備基金に積み替え、将来に備えた形での基金造成ができたところについては、評価できる決算であり、財政状況については好転しています。

**問** 監査委員意見書で、

經常収支比率が6.6ポイント上がり、これは高い数値で硬直化した状況という指摘であるが、

**答** 一般的に經常収支比率は、70〜80%が理

想とされているが、なかなかその中に入っている自治体はなく、自治体間の比較をすれば、比較的良い指標であると考えます。

**問** 公債費・扶助費の義務的経費の増加も指摘されていますが、

**答** 公債費は、過去に発行している地方債の償還となっており、元金償還額も減っています。

**問** 財政調整基金は、標準財政規模の1割として約14億であるが、決算で実質的に約24億になっているが、

**答** 当初予算編成において4億円の取り崩しを行っており、一般財源が不足した場合に活用していますので14億きっかりで運用するのはなく、ゆとりを持たせています。

**問** 令和3年度と令和4年度の人件費の違い

について

**答** 新規採用職員が4名でそれ以外は再任用職員が5名であり、再任用職員の給料が減っているための違いです。

**問** 現在の空き家件数と再利用に有効な空き家件数は、

**答** 令和5年8月末現在で、市内に729件の空き家があり、有効利用で登録があるのが2件、そのうち1件が交渉中です。

**問** 女性活躍推進事業について

**答** 技能取得の講座等各種講座を開催。フオークリフト講習会は令和2年度から開催し、3回とも定員の10名に達し、介護の実務講座では15名募集で15名受講。ZOOMのスキルアップ講座は、30名中10名の応募でした。

**問** ガス代、電気代、燃料代等各小・中学